

## (5) 図書館

## 1) 施設概要

## ① 施設一覧

本市では、図書館を1施設（中央図書館）、公民館内に図書室を3施設設置しています。図書館は単独施設となっています。

表 施設一覧

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる 建物)	複合・併設施設	備考
					公民館	
1 中央図書館	若宮一丁目6番31号	1,521.00	昭和54	RC造		
2 図書室(中央公民館内)	柿岡5680番地1	158.18	昭和57	RC造	●	
3 図書室(東地区公民館内)	東石岡四丁目6番24号	51.84	昭和57	RC造	●	
4 図書室(城南地区公民館内)	三村7109番地	94.33	昭和61	RC造	●	
合計		1,825.35				

## ② 事業内容

- ・ 図書の貸出
- ・ 中央図書館にあつては読書普及活動

## ③ 開館時間等（平成26年度）

施設名	開館時間	休館日	開館日数
中央図書館	午前9時から午後5時まで (H27年7月より平日のみ 午前9時から午後7時まで)	月曜日(祝日の場合はその翌日も) 祝日・特別整理・年末年始	284日
図書室 (中央公民館内)	午前9時から午後5時まで	月曜日(祝日の場合はその翌日も) 祝日・特別整理・年末年始	285日
図書室 (東地区公民館内)	午後1時から午後5時まで	月曜日・火曜日 祝日・特別整理・年末年始	242日
図書室 (城南地区公民館内)	午後1時から午後5時まで	月曜日・火曜日 祝日・特別整理・年末年始	242日

## ④ 利用方法

図書館の資料を借りるには、「図書館利用カード」が必要です。以下の方が対象です。

- ・ 石岡市在住・石岡市へ通勤通学・土浦市，小美玉市，かすみがうら市，笠間市在住

⑤ 配置状況

図 図書館・図書室位置図



## ⑥ 図書館資料数

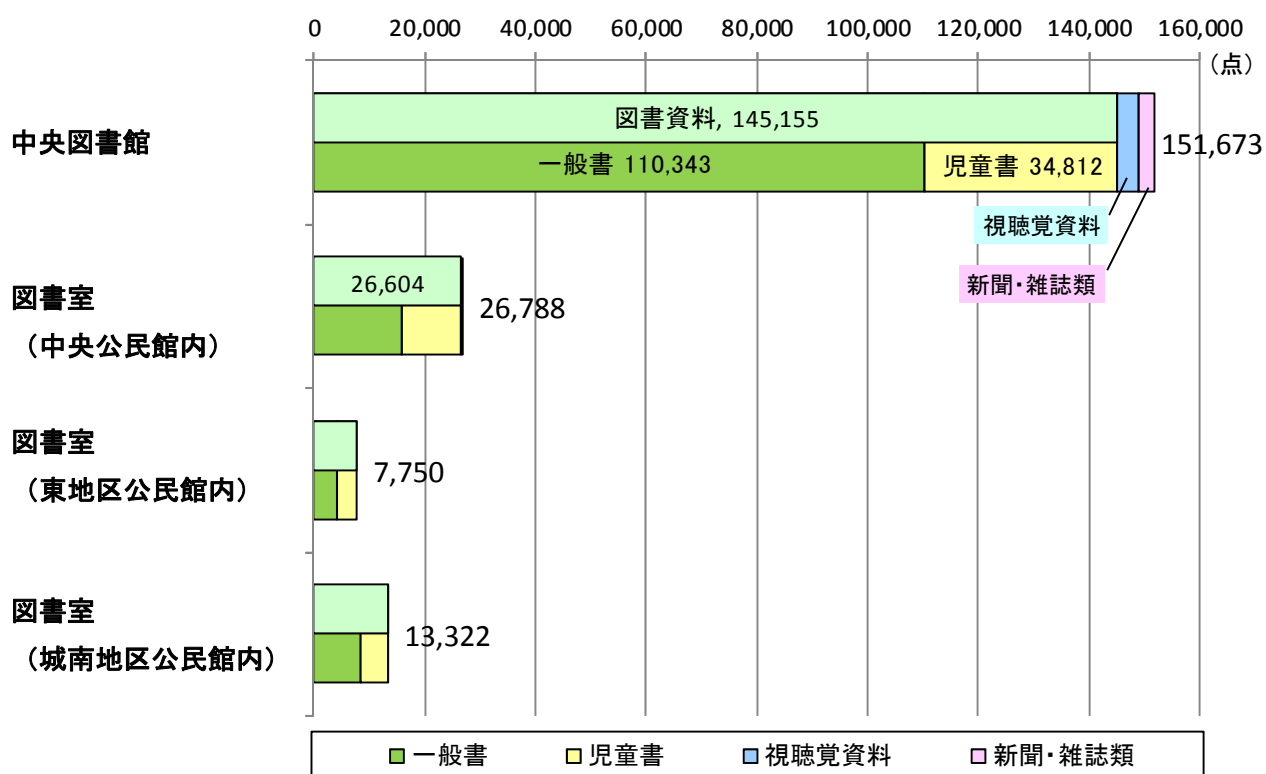
平成 26 年度の図書館及び図書室の蔵書等資料数は 19 万 9,533 点です。その内訳は一般書が 13 万 8,732 点で全体の 70%を占めています。次いで児童書が 5 万 4,099 点で、一般図書と合わせると全体の 97%を占めます。

施設別にみると、中央図書館が 15 万 1,673 点で全体の 76%を占めています。各図書室は図書資料が中心で、中央公民館内図書室が 2 万 6,788 点、東地区公民館内図書室が 7,750 点、城南地区公民館内図書室が 1 万 3,322 点となっています。

表 図書館資料数（平成 26 年度）

	図書資料		その他		合計
	一般書	児童書	視聴覚資料	新聞・雑誌類	
中央図書館	110,343	34,812	3,750	2,768	151,673
図書室 (中央公民館内)	16,023	10,581	0	184	26,788
図書室 (東地区公民館内)	4,030	3,720	0	0	7,750
図書室 (城南地区公民館内)	8,336	4,986	0	0	13,322
合計	138,732	54,099	3,750	2,952	199,533
構成比	70%	27%	2%	1%	

図 図書館資料数（平成 26 年度）



⑦ スペース構成

図書館・図書室の規模は、中央図書館が1,521㎡、中央公民館内図書室は158㎡、東地区公民館内図書室は52㎡、城南地区公民館内図書室は94㎡となっています。

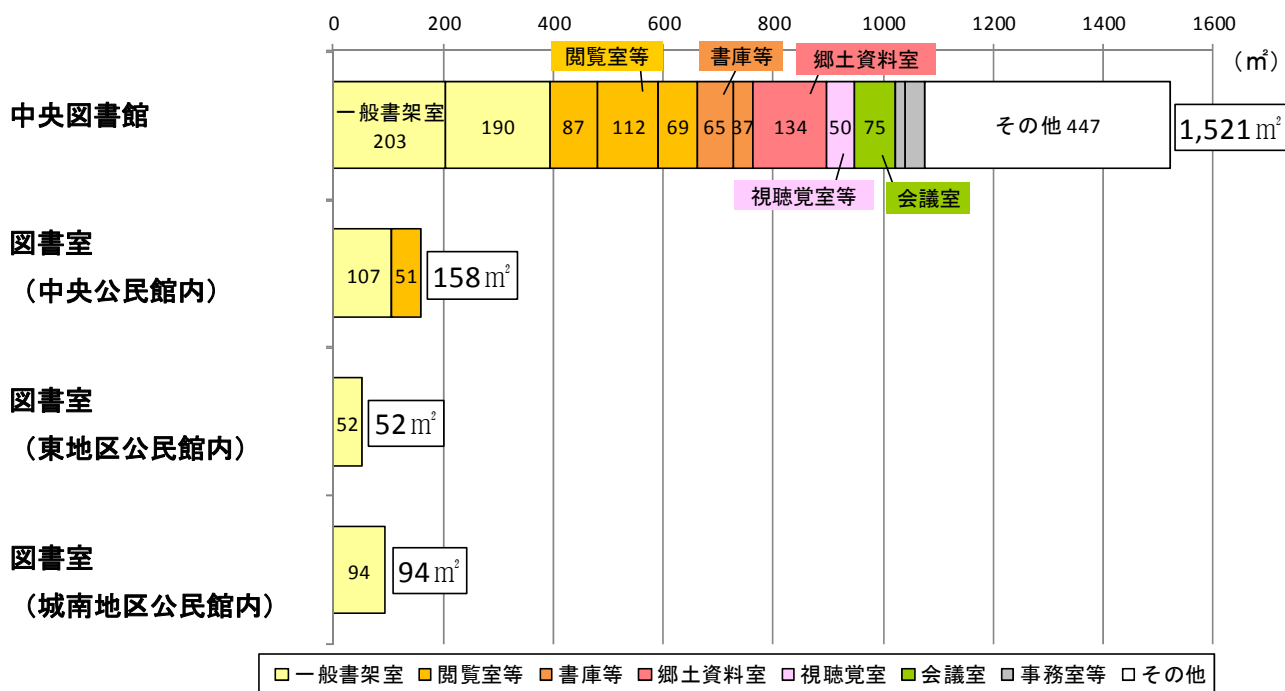
スペース構成の特徴：中央図書館は書架室・書庫の他、児童室や郷土資料室、視聴覚室及び会議室等を備えています。図書室は中央公民館内図書室が閲覧室を備えるほかは図書室のみの構成となっています。

図 各諸室面積（平成26年度）

	一般書架室		図書室	児童室	読書室	参考室	閲覧室	
中央図書館	203	190	—	87	112	69	—	
図書室 (中央公民館内)	—	—	107	—	—	—	51	
図書室 (東地区公民館内)	—	—	52	—	—	—	—	
図書室 (城南地区公民館内)	—	—	94	—	—	—	—	

(㎡)

	書庫	資料整理室	郷土資料室	視聴覚室	会議室	館長応接室	事務室	その他	合計
中央図書館	65	37	134	50	75	19	33	447	1,521
図書室 (中央公民館内)	—	—	—	—	—	—	—	—	158
図書室 (東地区公民館内)	—	—	—	—	—	—	—	—	52
図書室 (城南地区公民館内)	—	—	—	—	—	—	—	—	94



2) 実態把握

① 建物状況

■ 図書館・図書室の建物総合評価結果

平成 26 年度の図書館・図書室 4 施設の建物状況について評価を行いました。

No.	施設名	基本情報		①耐震化	②老朽化			③劣化状況	④バリアフリー対応					⑤環境対応			⑥維持管理 床面積当たり (円/㎡)		
		建築年度	延床面積 (㎡)	耐震診断・耐震改修	築年数	直近の大規模改修	大規模改修後経過年数	劣化問題票回答評価	エレベーター※1	車いす用トイレ	障がい者用トイレ	車いす用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	太陽光発電の導入	自然エネルギー	環境対応設備※2	光熱水費
1	中央図書館	昭和54	1,521	不要	36	-	36	×	○	○	○	○	△	×	×	×	1,736	3,247	117
2	図書室(中央公民館内)	昭和57	158	不要	33	-	33	○	×	○	△	○	△	×	×	×	1,650	841	0
3	図書室(東地区公民館内)	昭和57	52	不要	33	-	33	○	×	○	○	○	○	○	×	×	1,177	0	0
4	図書室(城南地区公民館内)	昭和61	94	不要	29	-	29	○	△	○	○	○	△	×	×	×	1,325	0	0

記載例	○:劣化がみられないもの △:一部に劣化がみられるもの・不明 ×:屋根・外壁等の重要部位に劣化がみられるもの	④ ⑤	○:実施済 △:一部実施・不明 ×:未実施	※1 手すり・鏡・低い操作ボタン等 ※2 節水型便器, 高効率照明器具・LED照明, 雨水・中水設備 ※①の「不要」には, 耐震診断の結果耐震補強が不要な施設と, 新耐震基準施設のため不要な施設が含まれる。
-----	--	--------	-----------------------------	---

図書館・図書室は耐震安全性は問題ありませんが、城南地区公民館内図書室が築 29 年，他は全て築 30 年を超えており，老朽化の進行が懸念されます。劣化状況は，中央図書館で重要部位の劣化が確認されたほかは，特に問題はでていません。

4 施設全てバリアフリー対応は進んでいます。

評価	パターンⅡ 老朽化	パターンⅣ 今後 老朽化												
	<p>・老朽化が進行している ⇒建替え又は大規模改修などの老朽化対策の検討が必要な施設</p>	<p>・今後、老朽化が進行する ⇒今後老朽化対策の検討が必要になる施設</p>												
該当施設	<table border="1"> <tr> <th>該当施設</th> <th>建築年度</th> </tr> <tr> <td>中央図書館</td> <td>昭和54</td> </tr> <tr> <td>図書室(中央公民館内)</td> <td>昭和57</td> </tr> <tr> <td>図書室(東地区公民館内)</td> <td>昭和57</td> </tr> </table> <p>&lt; 3 施設 &gt;</p>	該当施設	建築年度	中央図書館	昭和54	図書室(中央公民館内)	昭和57	図書室(東地区公民館内)	昭和57	<table border="1"> <tr> <th>該当施設</th> <th>建築年度</th> </tr> <tr> <td>図書室(城南地区公民館内)</td> <td>昭和61</td> </tr> </table> <p>&lt; 1 施設 &gt;</p>	該当施設	建築年度	図書室(城南地区公民館内)	昭和61
該当施設	建築年度													
中央図書館	昭和54													
図書室(中央公民館内)	昭和57													
図書室(東地区公民館内)	昭和57													
該当施設	建築年度													
図書室(城南地区公民館内)	昭和61													
コメント	<p>・耐震改修工事は完了しているものの，築30年以上と老朽化がかなり進行しており，大規模改修工事などの早急な対応が必要です。</p>	<p>・新耐震基準の建物ですが，築20年を超えており，計画的な老朽化対策の検討が必要になっています。</p>												

② 利用状況

■ 年間貸出件数（点数）・年間貸出者数

全施設の貸出件数は年間約 27 万件，貸出者数は約 6.9 万人です。

施設別にみると，中央図書館の貸出者数が約 6.0 万人と，全体の 87%を占めています。このうち 4,354 人が市外からの利用となっています。市全体の貸出 1 人当たりの貸出件数は 3.9 件/人となっています。

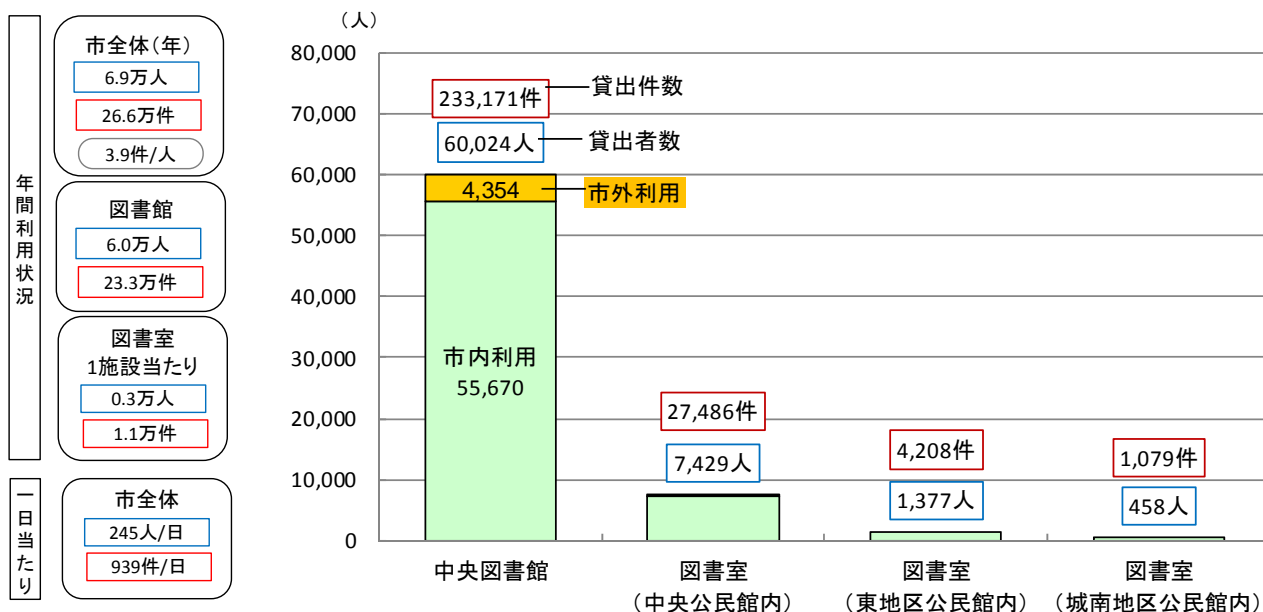
図書室では中央公民館が最も多く，貸出者数で約 7 千人強です。図書室 3 施設の合計では貸出件数が約 3.3 万件，貸出者数が約 9 千人です。

市全体の 1 日当たりの利用状況は，貸出件数が 939 件，貸出者数が 245 人となっています。

また，リクエスト状況をみると，中央図書館で 3,898 件（貸出件数の 2%），中央公民館内図書室で 1,032 件（貸出件数の 4%）です。

貸出以外の主催事業をみると，利用相談が 1,420 件あるほか，おはなし会や図書館見学などでの利用がみられます。

図表 年間貸出件数・年間貸出者数（平成 26 年度）



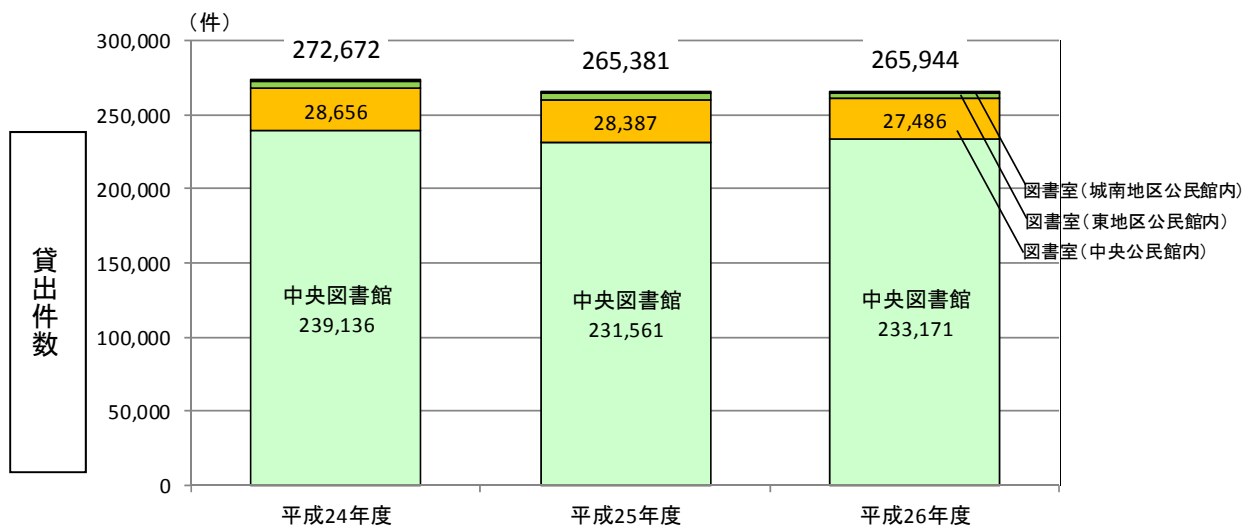
	中央図書館	図書室 (中央公民館内)	図書室 (東地区公民館内)	図書室 (城南地区公民館内)
リクエスト件数	3,898	1,032	432	205
貸出件数に対する割合	2%	4%	10%	19%
利用相談	1,420	0	0	0
おはなし会	23	11	0	0
図書館見学	18	0	0	0
講座	2	0	0	0
映写会	1	0	0	0

■ 利用推移

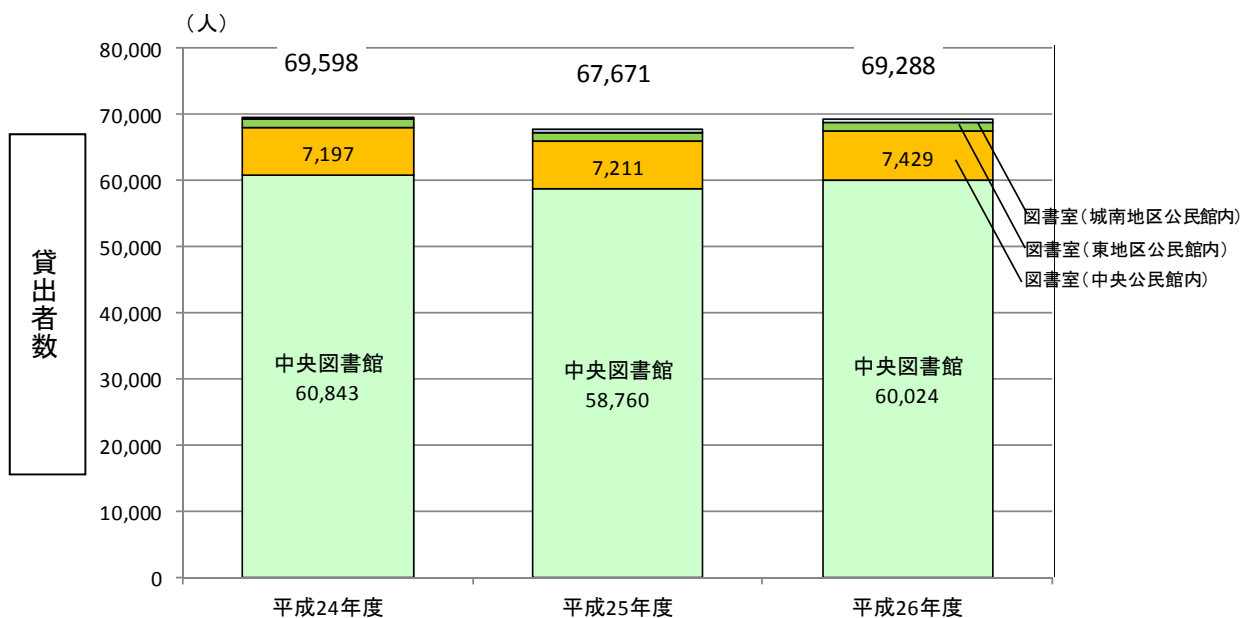
貸出件数の推移をみると、平成24年度の272,672件から265,944件へと減少しています。同時期の貸出者数推移は、69,598人から69,288人へと微減状況にあります。

利用1人当たりの貸出件数は3.8~3.9件/人と、年度変化はほとんどありません。

図 年間貸出件数・貸出者数の推移



利用1人当たり 貸出件数	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	3.9 件/人	3.9 件/人	3.8 件/人



③ 運営状況

■ 運営人員

図書館・図書室の4施設は、全て直営方式で運営されています。中央図書館では、施設維持管理に3人、事務・庶務に1人、窓口・受付に11人の計15人、各公民館内図書室では、窓口・受付に1~2人が運営にあたっています。

表 運営人員（平成26年度）

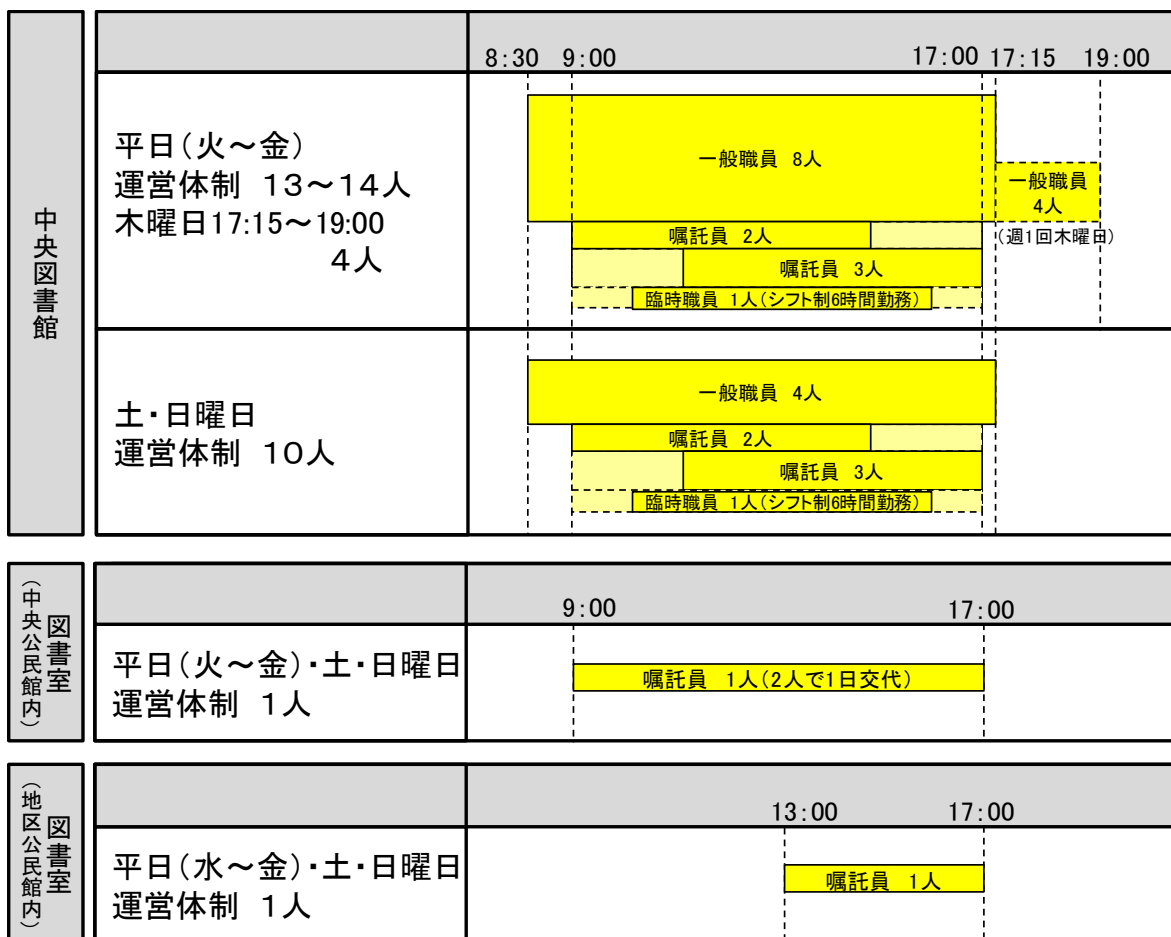
(人)

	中央図書館	図書室 (中央公民館内)	図書室 (東地区公民館内)	図書室 (城南地区公民館内)	合計	
管理運営形態	直営	直営	直営	直営		
施設維持管理	一般職員	3.0			3.0	
	計	3.0			3.0	
事務・庶務	一般職員	1.0			1.0	
	計	1.0			1.0	
窓口・受付	一般職員	4.0			4.0	
	嘱託員	6.0	2.0	1.0	1.0	10.0
	臨時職員	1.0				1.0
	計	11.0	2.0	1.0	1.0	15.0
合計	一般職員	8.0				8.0
	嘱託員	6.0	2.0	1.0	1.0	10.0
	臨時職員	1.0				1.0
	合計	15.0	2.0	1.0	1.0	19.0

■ 運営体制

中央図書館の運営体制は平日が8人~14人、土曜・日曜が4~10人となっています。図書室の運営体制は、中央公民館内は1人(2人で1日交代制)、各地区公民館内は午後のみ1人となっています。

図 運営体制（平成26年度）





## ④ コスト状況

## ■ コスト状況（対象4施設）

図書館・図書室の年間トータルコストは、1億1,898万円です。

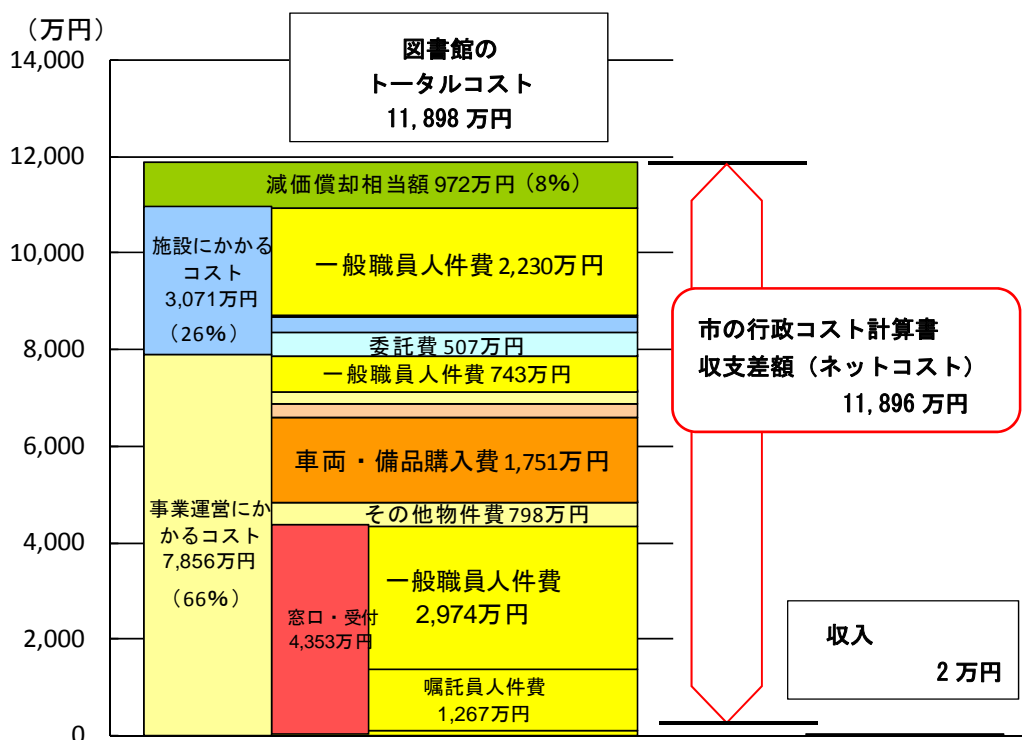
年間トータルコストのうち、施設にかかるコストが3,071万円（26%）、事業運営にかかるコストが7,856万円（66%）、減価償却相当額が972万円となっています。

表 施設別行政コスト計算書（平成26年度）

（千円）

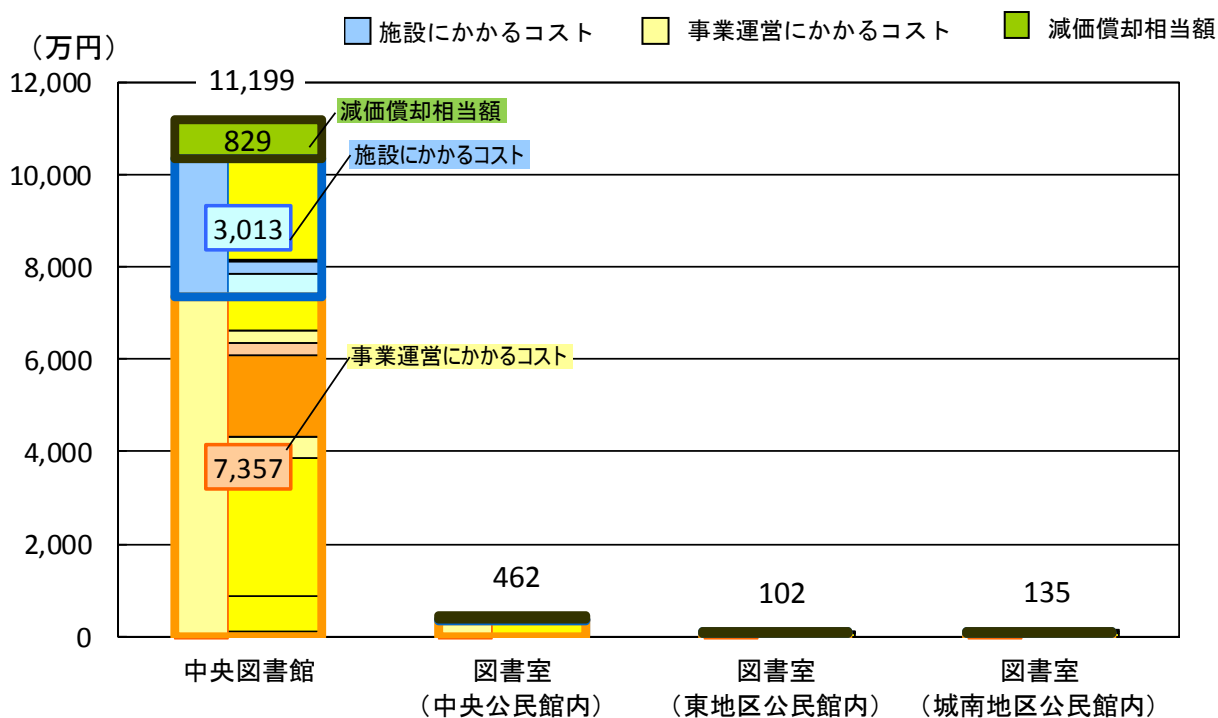
I. 現金収支を伴うもの【コストの部】		中央図書館	図書室 (中央公民館内)	図書室 (東地区公民館内)	図書室 (城南地区公民館内)	合計
施設にかかるコスト	一般職員人件費	22,302				22,302
	修繕費	178				178
	光熱水費	2,640	261	61	125	3,087
	委託費	4,939	133			5,072
	使用料及び賃借料	66				66
	施設にかかるコスト	30,125	394	61	125	30,705
事業運営にかかるコスト	一般職員人件費	7,434				7,434
	修繕費	15				15
	委託費	2,393				2,393
	使用料及び賃借料	2,949				2,949
	車両・備品購入費	17,514				17,514
	負担金補助及び交付金	48				48
	その他物件費	4,674	2			4,676
	事業運営	35,027	2			35,029
	一般職員人件費	29,736				29,736
	嘱託員人件費	7,692	3,350	822	810	12,674
	臨時職員人件費	1,120				1,120
	窓口・受付	38,548	3,350	822	810	43,530
	事業運営にかかるコスト	73,575	3,352	822	810	78,559
現金収支を伴うコスト 計	103,700	3,746	883	935	109,264	
【収入の部】						
収入 諸収入	21					21
収入の合計	21					21
II. 現金収支を伴わないもの						
コスト 減価償却相当額	8,291	870	140	416		9,717
III. 総括						
コストの部合計(トータルコスト)	111,991	4,616	1,023	1,351		118,981
収支差額(ネットコスト)	111,970	4,616	1,023	1,351		118,960

図 全施設トータルコスト（平成 26 年度）



施設別のトータルコストでは、中央図書館が1億1,199万円と全体の約94%を占めます。図書室は中央公民館内図書室が462万円、他は100万円強となっています。

図 施設別トータルコスト（平成 26 年度）

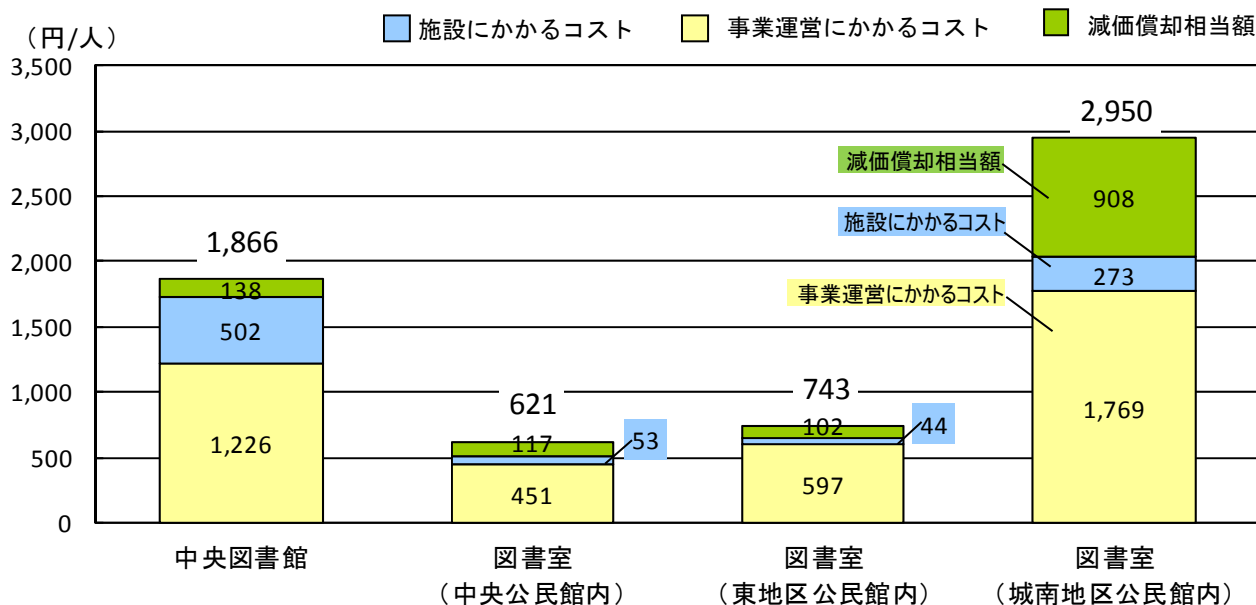


### 3) 評価・分析

#### ■ 貸出者数 1 人あたりにかかるコスト

年間貸出者数とトータルコストから貸出者 1 人あたりにかかるコストを算出すると、城南地区公民館内図書室の 2,950 円/人から中央公民館内図書室の 621 円/人となっています。

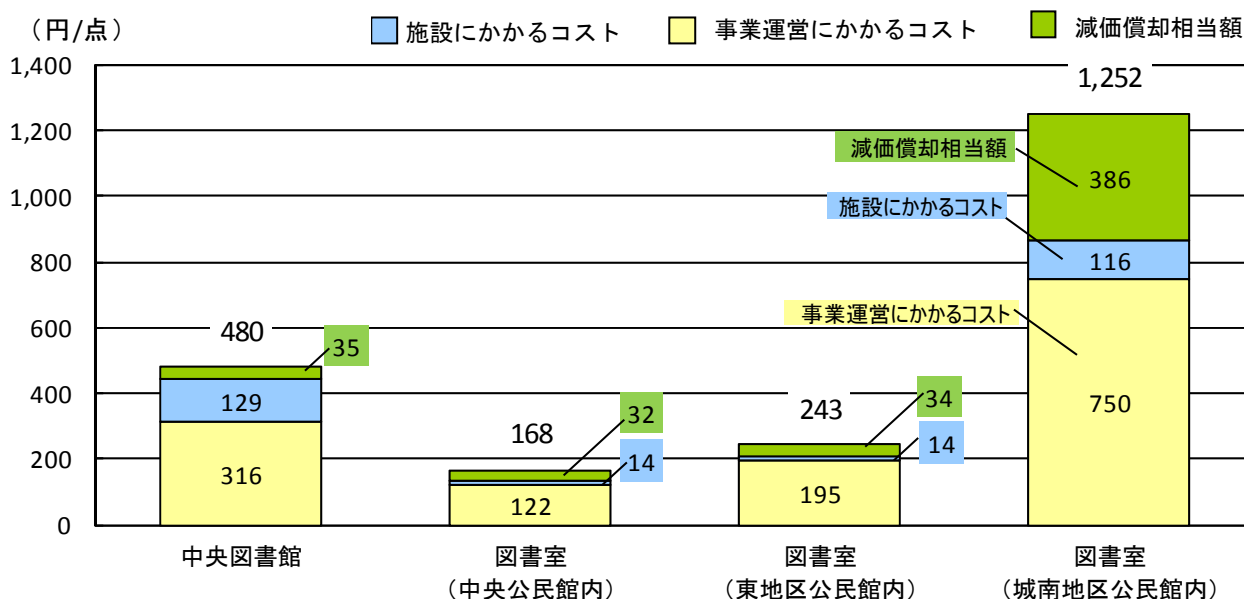
図 施設別 貸出者 1 人あたりにかかるコスト（平成 26 年度）



#### ■ 貸出点数 1 件あたりにかかるコスト

年間貸出点数とトータルコストから貸出 1 点あたりにかかるコストを算出すると、城南地区公民館内図書室の 1,252 円/点から中央公民館内図書室の 168 円/点となっています。

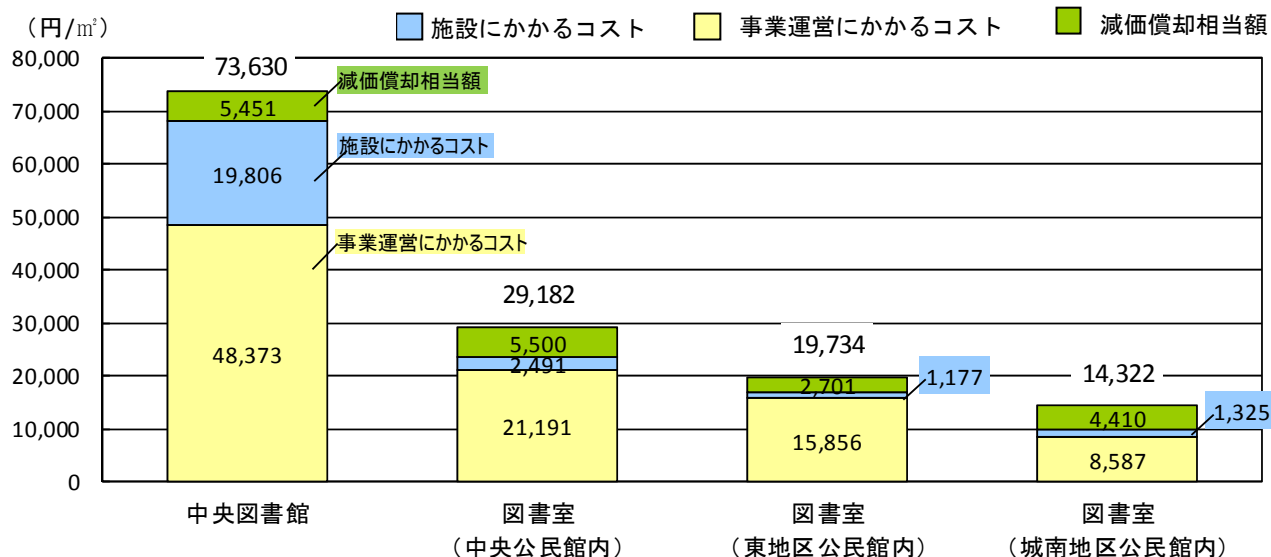
図 施設別 貸出点数 1 点あたりにかかるコスト（平成 26 年度）



## ■ 床面積 1 m<sup>2</sup>あたりにかかるコスト

床面積とトータルコストから床面積 1 m<sup>2</sup>あたりにかかるコストを算出すると、中央図書館の 7 万 3,630 円/m<sup>2</sup>から城南地区公民館内図書室の 1 万 4,322 円/m<sup>2</sup>となっています。

図 施設別 床面積 1 m<sup>2</sup>あたりにかかるコスト（平成 26 年度）



## 4) 今後の検討の視点

### ■ 施設に関する視点

- 耐震安全性は確保されていますが、老朽化が進行していると考えられるので、早急な対応が必要です。但し現在のところ、中央図書館以外では目立った劣化は認められていません。
- バリアフリー化は進んできていますので、今後は環境配慮への対応が望まれます。

### ■ 利用に関する視点

- 中央図書館に利用は集中していますが、中央公民館内図書室も中央図書館に次ぐ利用があります。

### ■ コストに関する視点

- 中央図書館に利用や施設・人件費とも集中しています。コストの大半は人件費と図書の購入費ですが、中央図書館では施設にかかるコストと減価償却相当額の合計が、中央図書館全体の 30%強を占めています。
- 城南地区公民館内図書室は利用が少ないため、利用当たりのコストが割高となっています。
- 単独施設で規模の大きい中央図書館は、床面積当たりのコストも高額になっています。
- 金額は大きくありませんが、図書室の利用状況から、各地域にあった役割と適正な配置等の検討が必要と思われます。